

②

令和3年度  
当初予算案の主要事業

令和3年2月

浜 松 市



## 目次

(1)	〈新規〉オープンデータ利活用推進事業	広聴広報課	1
(2)	〈新規〉広報はままつ配信事業	広聴広報課	2
(3)	庁舎等整備事業	アセットマネジメント推進課	3
(4)	〈新規〉シビックパワーバトル予選会開催事業	企画課	4
(5)	総合戦略推進事業	企画課	5
(6)	〈新規〉庁内会議オンライン化事業	企画課	6
(7)	業務改革・改善活動支援事業	政策法務課	7
(8)	〈新規〉インターカルチュラル・シティ推進事業	国際課	8
(9)	第3次浜松市ユニバーサルデザイン計画策定事業	UD・男女共同参画課	9
(10)	住民情報システムクラウド環境移行事業	情報政策課	10
(11)	〈新規〉自治会等DXサポート事業	市民協働・地域政策課 中区区振興課	11
(12)	〈新規〉ハマライフ住宅取得費等助成事業	市民協働・地域政策課	12
(13)	〈新規〉中山間地域交流デラックス事業	市民協働・地域政策課	13
(14)	〈新規〉山里いきいき応援隊マネジメント事業	市民協働・地域政策課	14
(15)	中山間地域あらたな仕事づくり研究事業	市民協働・地域政策課	15
(16)	〈拡充〉空家等除却促進事業	市民生活課	16
(17)	デジタル・スマートシティ関連事業	デジタル・スマートシティ推進 事業本部	17
(18)	〈新規〉データ連携基盤整備・運用事業	デジタル・スマートシティ推進 事業本部	18
(19)	〈新規〉協働センター等Wi-Fi整備事業	デジタル・スマートシティ推進 事業本部	19
(20)	〈新規〉いっかもないか事業	天竜区区振興課	20
(21)	浜松国際ピアノコンクール開催事業	創造都市・文化振興課	21
(22)	2020文化プログラム推進事業	創造都市・文化振興課	22
(23)	市民音楽ホール管理運営事業及び整備事業	創造都市・文化振興課	23
(24)	アクトシティ浜松改修事業	創造都市・文化振興課	24
(25)	〈拡充〉トップアスリート連携事業	スポーツ振興課	25
(26)	ブラジルホストタウン交流事業	スポーツ振興課	26
(27)	東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会関連事業	スポーツ振興課	27
(28)	ビーチ・マリンスポーツ推進事業	スポーツ振興課 観光・シティプロモーション課 公園管理事務所	28

(29)	スポーツ施設整備事業	スポーツ振興課	29
(30)	〈新規〉WRO（ワールド・ホップ・リビート）Japan2022決勝大会誘致事業	創造都市・文化振興課	30
(31)	プラネタリウム機器更新事業	創造都市・文化振興課	31
(32)	史跡等整備活用事業	文化財課	32
(33)	中央図書館大規模改修事業	中央図書館 公共建築課	33
(34)	〈新規〉講座・多言語通訳タブレット型端末導入事業	中央図書館	34
(35)	〈新規〉蛭塚遺跡保存活用計画策定及び博物館リニューアル事業	文化財課博物館	35
(36)	美術館及び秋野不矩美術館展覧会	美術館 秋野不矩美術館	36
(37)	秋野不矩美術館資料収集保存事業	秋野不矩美術館	37
(38)	〈新規〉地番図データ公開事業	資産税課	38
(39)	〈拡充〉マイナンバーカード交付促進事業	市民生活課	39
(40)	福祉交流センター大規模改修事業	福祉総務課 公共建築課	40
(41)	住居確保給付金事業	福祉総務課	41
(42)	〈拡充〉障がい者相談支援事業	障害保健福祉課	42
(43)	〈新規〉医療的ケア児等支援事業	障害保健福祉課	43
(44)	〈拡充〉老人福祉施設等整備費助成事業	高齢者福祉課	44
(45)	子育て支援・少子化に関するアンケート調査事業	次世代育成課	45
(46)	〈拡充〉SNSを活用した若者相談支援事業	青少年育成センター	46
(47)	保育所等における新型コロナウイルス感染症対応	子育て支援課 次世代育成課	47
(48)	〈拡充〉発達支援広場事業	子育て支援課	48
(49)	〈新規〉養育費確保支援事業	子育て支援課	49
(50)	〈新規〉市立保育所における医療的ケア児保育事業	幼児教育・保育課	50
(51)	〈新規〉佐鳴台保育園移転改築事業	幼児教育・保育課	51
(52)	〈拡充〉余裕活用型一時預かり事業	幼児教育・保育課	52
(53)	私立保育所等施設整備費助成事業	幼児教育・保育課	53
(54)	〈新規〉市立保育園職員勤務割表作成事務A I 導入事業	幼児教育・保育課	54
(55)	保育士修学資金等貸付事業	幼児教育・保育課	55
(56)	保育所等利用待機児童の解消	幼児教育・保育課	56
(57)	〈新規〉成育医療寄附講座事業	健康医療課	58
(58)	〈新規〉在宅医療ICT推進事業	健康医療課	59

(59)	P C R検査センター設置運営事業	保健総務課 健康医療課	60
(60)	医療調整本部事業	健康医療課	61
(61)	斎場再編・整備事業	市民生活課	62
(62)	〈拡充〉産後ケア事業及び多胎ピアサポート事業	健康増進課	63
(63)	〈新規〉オンライン相談支援事業	健康増進課	64
(64)	新型コロナウイルスワクチン接種事業	健康増進課	65
(65)	〈新規〉浜松ウエルネスプロジェクト事業	健康増進課	66
(66)	〈新規〉骨髄ドナー等助成事業	保健総務課	67
(67)	発熱等受診相談センター運営事業	保健総務課 生活衛生課	68
(68)	〈新規〉感染症対策調整監の設置	生活衛生課	69
(69)	感染症対策事業	生活衛生課	70
(70)	〈新規〉西部清掃工場更新事業	廃棄物処理課	71
(71)	新清掃工場整備事業	廃棄物処理課	72
(72)	〈新規〉事業系一般廃棄物の適正処理推進事業	ごみ減量推進課	73
(73)	〈新規〉電気自動車普及啓発事業	環境政策課	74
(74)	〈拡充〉特定外来生物（クリハラリス・ヌートリア）対策事業	環境政策課	75
(75)	〈新規〉環境とSDGs一体推進トライアル事業	環境政策課	76
(76)	〈新規〉外国人留学生インターンシップ支援事業	産業総務課	77
(77)	奨学金返還支援事業	産業総務課	78
(78)	勤労者生活資金貸付事業	産業総務課	79
(79)	食と農プロジェクト推進事業	農業水産課	80
(80)	〈新規〉美食の街推進事業	農業水産課	81
(81)	〈新規〉WEBフードテーマパーク事業	農業水産課	82
(82)	〈新規〉フルーツパーク未来ビジョン策定事業	農業水産課	83
(83)	〈新規〉浜松のお茶消費拡大推進事業	農業振興課	84
(84)	〈新規〉ジャンボタニシ防除対策事業	農業振興課	85
(85)	〈新規〉浜名湖北部地区営農ビジョン策定事業	農地整備課	86
(86)	〈新規〉再生可能エネルギー調査事業	農地整備課	87
(87)	〈新規〉山地災害予防対策事業	林業振興課	88
(88)	〈拡充〉天竜材の家百年住居る助成事業	林業振興課	89

(89)	天竜材ぬくもり空間創出事業	林業振興課	90
(90)	〈新規〉オリンピック・パラリンピックレガシー創造事業	林業振興課	91
(91)	〈新規〉天竜材人材育成・担い手確保事業	林業振興課	92
(92)	〈新規〉スマート林業推進事業	林業振興課	93
(93)	〈新規〉新型コロナウイルス感染症対策貸付金利子助成事業	産業総務課	94
(94)	〈新規〉まちなかオープンテラス事業	産業振興課	95
(95)	新川モール利活用推進事業	産業振興課	96
(96)	総合産業展示館改修事業	産業振興課 公共建築課	97
(97)	〈新規〉グローバルものづくり企業連携事業	産業振興課	98
(98)	EVシフト対応支援事業	産業振興課	99
(99)	テレワーク推進事業	産業振興課	100
(100)	〈新規〉越境EC販路開拓支援事業	産業振興課	101
(101)	ベンチャー支援関連事業	産業振興課 観光・シティプロモーション課	102
(102)	ファンドサポート事業	産業振興課	105
(103)	実証実験サポート事業	産業振興課	106
(104)	〈新規〉Next Innovator育成事業	産業振興課	107
(105)	〈新規〉首都圏企業拠点誘致事業	産業振興課	108
(106)	企業立地促進助成事業	企業立地推進課	109
(107)	浜松まつり事業	観光・シティプロモーション課	110
(108)	デジタルマーケティング推進事業	観光・シティプロモーション課	111
(109)	〈拡充〉フィルムコミッション推進事業	観光・シティプロモーション課	112
(110)	〈新規〉公式オンラインアンテナショップ事業	観光・シティプロモーション課	113
(111)	〈拡充〉多拠点居住推進事業	観光・シティプロモーション課	114
(112)	サテライトオフィス宿泊プラン支援事業	観光・シティプロモーション課	115
(113)	〈拡充〉ダンスでハママツハッピー！プロジェクト	観光・シティプロモーション課	116
(114)	ハママツ・ツーリズムプロモーション・パートナーシップ協定事業	観光・シティプロモーション課	117
(115)	〈新規〉アツイ街浜松プロモーション事業	観光・シティプロモーション課	118
(116)	〈拡充〉ふるさと納税事業	観光・シティプロモーション課	119
(117)	〈新規〉設計書情報提供システム構築事業	技術監理課	120
(118)	ブロック塀等耐震改修助成事業	建築行政課	121

(119)	公共建築物長寿命化推進事業	公共建築課 アセットマネジメント推進課	122
(120)	道路・街路・河川事業	道路企画課 道路保全課 河川課	123
(121)	小規模・中規模要望事業	道路企画課 道路保全課 河川課	124
(122)	交通事故ワースト1脱出事業	道路企画課	125
(123)	三遠南信自動車道関連整備事業	道路企画課	126
(124)	冠水時自動通行止装置（遮断機）設置事業	道路保全課	127
(125)	橋りょう・トンネル長寿命化事業	道路保全課	128
(126)	舗装長寿命化事業	道路保全課	129
(127)	橋りょう耐震補強事業	道路保全課	130
(128)	〈拡充〉土木防災情報システム機器更新事業	河川課	131
(129)	都市計画区域マスタープラン調査検討事業	都市計画課	132
(130)	浜松版スマートタウン開発支援事業	土地政策課	133
(131)	歴史的風致維持向上計画策定事業	土地政策課 文化財課	134
(132)	バス交通等対策助成事業	交通政策課	135
(133)	遠州鉄道八幡駅再整備事業	交通政策課	136
(134)	〈新規〉天竜浜名湖鉄道自然災害等復旧助成事業	交通政策課	137
(135)	〈新規〉浜北中央北地区の整備	市街地整備課	138
(136)	土地区画整理等調査事業	市街地整備課	139
(137)	〈新規〉はままつフラワーパークNEXT50事業	緑政課	140
(138)	モザイカルチャー推進事業	緑政課	141
(139)	浜松城公園長期整備構想推進事業	緑政課 文化財課	142
(140)	浜松城公園整備事業	公園課	143
(141)	住生活基本計画見直し事業	住宅課	144
(142)	西消防署庄内出張所建設事業	消防総務課	145
(143)	〈新規〉SPD資器材管理委託事業	警防課	146
(144)	〈新規〉救急隊員用タブレット型端末導入事業	警防課	147
(145)	〈新規〉消防指令センター再整備事業	情報指令課	148
(146)	浜松第9分団庁舎移転改築事業	消防総務課 アセットマネジメント推進課	149
(147)	浜北第3分団庁舎・北浜小学校放課後児童会の複合施設建設事業	消防総務課 教育総務課	150

(148)	消防団による地域プロモーション事業	消防総務課	151
(149)	水防団活動被服更新事業	河川課	152
(150)	〈新規〉災害時電源確保事業	危機管理課 環境政策課 天竜区振興課	153
(151)	〈拡充〉コミュニティ・スクール推進事業	教育総務課	154
(152)	〈拡充〉放課後児童会運営支援事業	教育総務課	155
(153)	放課後児童会待機児童の解消	教育総務課	156
(154)	教育の情報化推進アドバイザー配置事業	教育施設課	157
(155)	〈拡充〉小中学校学習者用タブレット型端末等整備事業	教育施設課	158
(156)	〈新規〉水巻寮教職員住宅改築事業	教育施設課	159
(157)	〈新規〉教員免許状更新講習オンデマンド事業	教育センター	160
(158)	〈拡充〉指導員・支援員の配置	教職員課 指導課 市立高等学校	161
(159)	〈新規〉多層指導モデルM I M導入事業	指導課	162
(160)	〈拡充〉外国人子供教育支援推進事業	指導課	163
(161)	校務アシスタント配置事業	教職員課	164
(162)	学校における新型コロナウイルス感染症対応	教職員課 教育施設課 市立高等学校	165
(163)	学校建設事業	教育施設課	166
(164)	学校施設長寿命化事業	教育施設課	167
(165)	市立高校 I C T 環境整備事業	市立高等学校	168
(166)	市立高校施設整備事業	市立高等学校	169
(167)	〈新規〉学校給食費公会計化事業	健康安全課	170
(168)	第8期介護保険事業計画	介護保険課 高齢者福祉課 健康増進課	171
(169)	〈新規〉新食肉センター再編整備事業	食肉地方卸売市場	172
(170)	中央卸売市場再整備基本構想策定事業	中央卸売市場	173
(171)	〈新規〉小型自動車競走場新企画レース開催事業	産業総務課公営競技室	174
(172)	小型自動車競走場メインスタンド棟改築事業	産業総務課公営競技室	175
(173)	浜松医療センター新病院整備事業	病院管理課	176
(174)	佐久間病院病床再編及び医師確保対策事業	佐久間病院	177

※事務分掌の変更や組織改正により所管課が変更となる場合があります。



〈新規〉オープンデータ利活用推進事業

企画調整部広聴広報課  
電話: 457-2021

(単位: 千円)

予算款	戦略計画 分野別計画	事業費	財源内訳			
			国・県	市債	その他	一般財源
総務費	地方自治・ 都市経営	400	0	0	0	400

※市政広報事業 155,586 千円の一部

目的	<p>オープンデータを活用し、地域課題の解決や地域の活性化、「市民目線」の行政サービスの提供、シビックテック（※）の普及啓発を図る。</p> <p>※市民が行政の提供するオープンデータを活用し、自らの技術・知識を生かして地域課題の解決につなげる活動</p>
背景	<ul style="list-style-type: none"> <li>デジタル・スマートシティの推進には、オープンデータをはじめとしたデータの利活用が重要であるため、本市では令和3年4月からオープンデータプラットフォームの本格運用を開始する。</li> <li>行政が提供したオープンデータを活用し、市民自らの技術や知識を生かして地域課題の解決につなげるシビックテックの活動は、国内外の各地で広まっている。</li> </ul>
事業内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>シビックテック普及啓発講座 400 千円 シビックテックの活動について、市内の機運醸成及び普及啓発を図るため、市民活動団体や学生の集まりなどへ講師を派遣し、シビックテックについての講座を開催する。 講師依頼先：一般社団法人コード・フォー・ジャパン</li> <li>アイデアソン・データソン（静岡県、静岡大学と連携） 空間や物体の形状を点と色と座標で示した点群データの利活用について、アイデアを練り、実用に向けた方法を考えるため、アイデアソン（※1）・データソン（※2）を開催する。 ※1 新しいサービスのアイデアをグループワーク等を通じて生み出す取り組み ※2 特定のテーマに関して課題解決のアイデアを実装するのに必要なデータを整備したり、可視化したりする取り組み</li> <li>オープンデータ活用人材育成 オープンデータの利活用を推進するため、データの公開及びデータ精度の向上について、職員向けに講座を開催する。</li> </ol>

浜松市 新型コロナウイルス感染症対策サイト

検査陽性者の状況

(注) チャーター機帰国者、クルーズ船乗客等は含まれていない

陽性者数(累計)	801 人
入院・宿泊療養等	90 人
軽症・中等症・無症状	90 人
重症	0 人
死亡	13 人
退院	698 人

〈市内におけるシビックテックの実績〉

- ・浜松市新型コロナウイルス感染症対策サイト
- ・はままつ安全・安心な飲食店認証制度認証店舗マップ
- ・AED 設置マップ「AED NOW」

(単位：千円)

予算款	戦略計画 分野別計画	事業費	財源内訳			
			国・県	市債	その他	一般財源
総務費	地方自治・ 都市経営	1,705	0	0	0	1,705

※市政広報事業 155,586 千円の一部

目的	市民が必要とする情報を、世帯だけでなく個人に対しても届けられる環境を整えるため、広報はままつを専用アプリ及びウェブサイトで配信する。
背景	<ul style="list-style-type: none"> <li>各戸配布している紙媒体の広報はままつは、世帯に対して情報は届くが、個人には届きにくい。</li> <li>スマートフォンの普及に伴い、スマートフォンからのインターネットやアプリを利用した情報取得者が増加していることから、専用のアプリ及びウェブサイトにより、情報発信を強化する必要がある。</li> </ul>
事業内容	<p>850以上の自治体広報紙をウェブ上で公開している配信サービス「マイ広報紙」を利用して、広報はままつ専用アプリとウェブサイトによる情報発信に取り組み、これまでの世帯に加え個人に対して市政情報を届けていく。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>専用アプリによる配信サービス             <ul style="list-style-type: none"> <li>広報はままつ専用アプリによる配信</li> <li>利用者へ最新号の発行をプッシュ通知でお知らせ</li> </ul> </li> <li>専用ウェブサイトの開設             <ul style="list-style-type: none"> <li>スマートフォン利用者の多くが閲覧しているニュース配信サイトと同じような読みやすく利便性の高い表示</li> <li>これまで利用していたアプリ同様、多言語と音声読み上げに対応するほか、新たに「やさしい日本語」に対応</li> </ul> </li> </ol>

アプリのイメージ



- ・いつでもどこでも、すぐに広報はままつが閲覧できる
- ・ニュース配信サイトと同じような表示で読みやすい
- ・多言語、音声読み上げ、やさしい日本語に対応

庁舎等整備事業

財務部アセットマネジメント推進課  
電話: 457-2533

(単位: 千円)

予算款	戦略計画 分野別計画	事業費	財源内訳			
			国・県	市債	その他	一般財源
総務費	地方自治・ 都市経営	243,555	0	0	117,420	126,135

※財源（その他）資産管理基金繰入金 116,920 千円、森林環境基金繰入金 500 千円

目的	本庁舎における設備の老朽化による不具合等を解消し、適切な維持管理を行う。
背景	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本庁舎は建設後 40 年が経過しており、設備の老朽化が進んでいる。</li> <li>・部分的な修繕では対応できない故障が増えているため、設備全体の改修を重要度、劣化度の高い箇所から計画的に実施していく。</li> </ul>
事業内容	<p>令和 3 年度実施工事等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本庁舎トイレ改修工事 83,000 千円 (内装改修、配管改修、内装木質化 (1・2 階))</li> <li>・本庁舎議場照明更新工事 32,365 千円 (LED 照明化)</li> <li>・本庁舎受変電設備改修工事負担金 10,000 千円</li> <li>・本庁舎本館 5 階市長室他照明改修工事 8,322 千円</li> <li>・本庁舎防火防煙ダンパー交換工事設計 他 3 件 9,468 千円</li> </ul>



本庁舎トイレ改修工事



本庁舎議場照明更新工事

〈新規〉シビックパワーバトル予選会開催事業

企画調整部企画課  
電話:457-2241

(単位：千円)

予算款	戦略計画 分野別計画	事業費	財源内訳			
			国・県	市債	その他	一般財源
総務費	地方自治・ 都市経営	380	0	0	0	380

※総合計画推進事業 3,408 千円の一部

目的	シビックパワーバトル（※）の本選へ出場するチームの選考会を通じ、シビックプライドの醸成やオープンデータの利活用を推進する。 ※統計データなどのオープンデータを用い、チームごとに地元の魅力を PR するプレゼン合戦
背景	<ul style="list-style-type: none"> <li>本市は平成 28 年度から、産官学が連携し、オープンデータ等の利活用推進に取り組むオープンガバメント推進協議会に加盟して、具体的な活用策等の検討を進めている。</li> <li>令和元年度に協議会が開催したシビックパワーバトルにおいて、浜松学芸高校が最優秀賞を受賞した。</li> </ul>
事業内容	<p>市内高校生によるシビックパワーバトル本選出場枠をかけた予選会を開催する。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>主催 浜松市</li> <li>日時・場所 令和 3 年 9 月または 10 月 市内会場</li> <li>対象者 市内高等学校に在学する高校生（市内高等学校毎に 4~5 人程度）</li> <li>内容 <ul style="list-style-type: none"> <li>参加校チームによる浜松市の魅力を PR するプレゼン</li> <li>市長及び参加者による審査</li> </ul> </li> </ol>



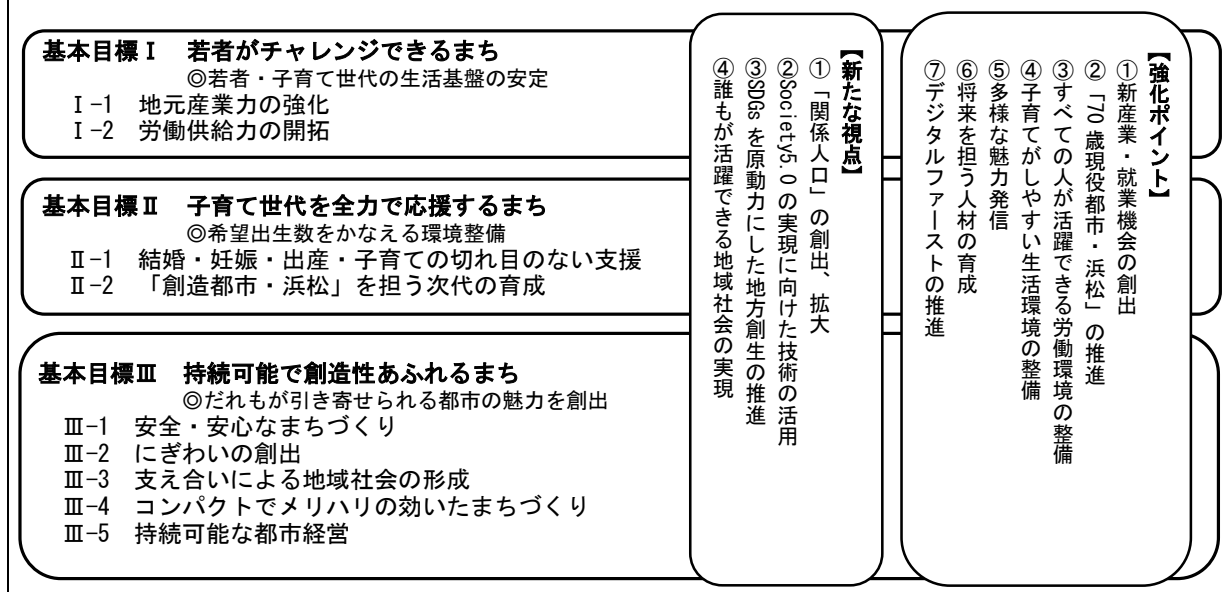
令和元年度「オープンガバメント推進協議会公開シンポジウムにおけるシビックパワーバトル」の様子

(単位：千円)

予算款	戦略計画 分野別計画	事業費	財源内訳			
			国・県	市債	その他	一般財源
総務費	地方自治・ 都市経営	1,567	450	0	0	1,117

目的	人口の将来展望の実現を目指し、人口減少の抑制・活力ある地域の維持に向け、地方創生に戦略的に取り組む。
背景	・令和2年3月、第1期総合戦略の施策体系に4つの新たな視点と7つの強化ポイントを定めた「第2期浜松市“やらまいか”総合戦略」(計画期間：令和2年度～令和6年度)を策定した。
事業内容	<p>1 第2期浜松市“やらまいか”総合戦略推進会議 467千円 総合戦略を着実に推進し、効果検証について妥当性・客観性を担保するため、産学官金労言民士など各分野の有識者で組織する会議を開催する。</p> <p>2 政策アイデアコンテスト開催事業 200千円 若者のシビックプライドを育み、定住を促進するとともに、アイデアを今後の地方創生の取組に反映させるため、若者を対象とした政策アイデアコンテストを開催する。</p> <p>3 (新規)関係人口創出モデル事業 900千円 東京圏の企業人材等が本市にて2泊3日のフィールドワークを行い、それぞれの視点により、自身が取組むことができる地域の課題解決、活性化につながる提案やサテライトオフィス、二拠点居住等の関係人口の創出に関する意見を発表するモデル事業を行う。</p>

第2期浜松市“やらまいか”総合戦略 3つの基本目標と施策体系





〈新規〉庁内会議オンライン化事業

企画調整部企画課  
電話: 457-2241

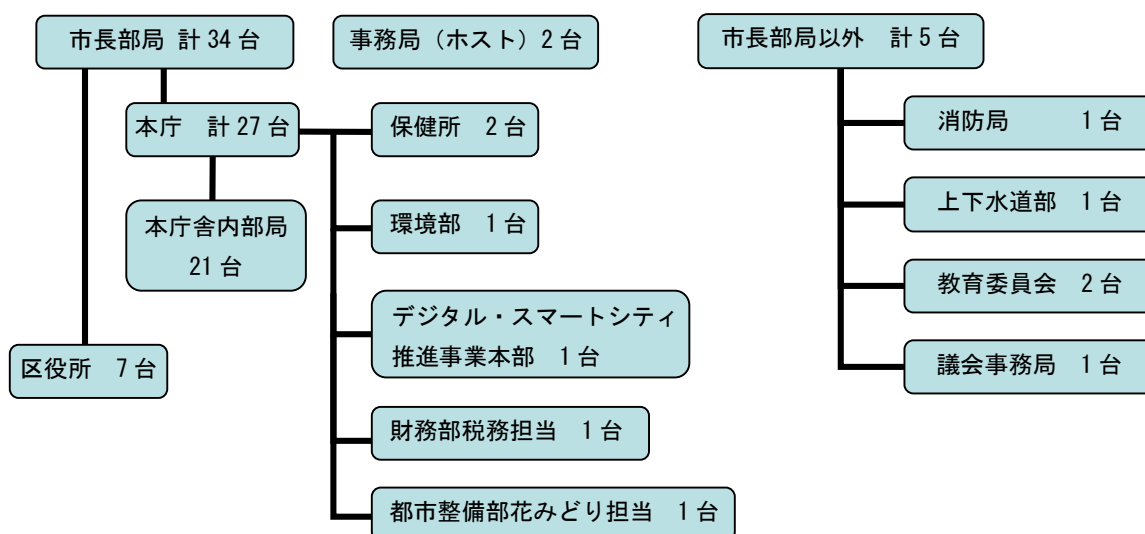
(単位: 千円)

予算款	戦略計画 分野別計画	事業費	財源内訳			
			国・県	市債	その他	一般財源
総務費	地方自治・ 都市経営	2,910	0	0	0	2,910

※(新規) 企画デジタル運営経費 7,336 千円の一部

目的	庁議等の庁内会議について、3密回避や効率的な会議運営を図るため、出席者用のタブレット型端末等を導入し、自席から会議に出席できる環境を整える。
背景	新型コロナウイルス感染症の影響により、従来の対面による方法だけでなく、新しい生活様式に対応した方法で会議が開催できる環境を整える必要がある。
事業内容	<p>1 概要</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 庁議等の庁内会議は、原則タブレット型端末を活用したオンライン開催とする。</li> <li>・ 資料は庁内メール等でデータ共有し、必要に応じて各自印刷。</li> </ul> <p>2 導入端末数</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 出席者用 (対象者: 市長、副市長、部長等) タブレット型端末 39 台</li> <li>・ 事務局用 ノートパソコン 2 台</li> </ul>

(タブレット型端末等配備先)



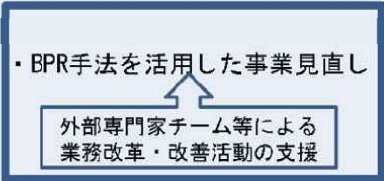
(単位: 千円)

予算款	戦略計画 分野別計画	事業費	財源内訳			
			国・県	市債	その他	一般財源
総務費	地方自治・ 都市経営	11,550	0	0	0	11,550

※経営改革推進事業 13,317 千円の一部

目的	将来を見据えた長期的かつ新たな視点で、市の経営資源のあり方について、抜本的な見直しを行う。
背景	<ul style="list-style-type: none"> <li>人口減少・少子高齢化に伴う社会保障関連経費やインフラの老朽化に伴う歳出の増加、新型コロナウイルス対応など、本市を取り巻く社会経済情勢はさらに厳しさを増している。</li> <li>市民福祉の向上や都市の活力維持を目指し、組織や事業のあり方について見直しを行い、効率的・効果的な事業遂行や市民サービス向上を図る必要がある。</li> </ul>
事業内容	<p>1 BPR手法を活用した事業見直しの実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各課が所管する全ての事業について、BPR(※)の手法を活用した、抜本的な見直しに取り組む。</li> </ul> <p>※BPR (Business Process Re-engineering) : 業務プロセスを設計し直すこと</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>特に、ICTツールを活用した生産性向上や、業務の正確性を担保する内部統制の見直しに取り組む。</li> </ul> <p>2 外部専門家チーム等による支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>1の実践において、各課で生じた課題や悩みに対応するため、外部専門家チームによる支援を実施する。</li> <li>優れた取り組みは、政策法務課による全庁的な横展開を図る。</li> </ul>

令和3年度における業務改革・改善の推進

階層等	方法	取組ツール
トップ層 (トップダウン方式)	大局的な視点で外部環境の変化等を認識し、取組を策定・実施	・浜松市行政経営推進プラン
中間層 (ミドルアップダウン方式)	中間層(課長・課長補佐等管理職)が中心となって取組を策定、実施	・BPR手法を活用した事業見直し  外部専門家チーム等による 業務改革・改善活動の支援
現場層 (ボトムアップ方式)	現場(主にグループ長以下の者)が現場の状況等を把握し、取組を策定、実施	・はままつGood Job運動

(単位:千円)

予算款	戦略計画 分野別計画	事業費	財源内訳			
			国・県	市債	その他	一般財源
総務費	地方自治・ 都市経営	3,200	1,600	0	0	1,600

目的	<p>本市がアジアの都市として初めて加盟したインターカルチュラル・シティ (ICC) ・ネットワークの政策理念 (※) を踏まえ、外国人市民と地域市民の協働により、新たな価値を創造するまちづくりを進める。</p> <p>※外国人市民をはじめとする住民の多様性を、脅威ではなくむしろ好機ととらえ、都市の活力や革新、創造、成長の源泉とする都市政策</p>
背景	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1990 年の改正入管法施行から、以降、本市は多文化共生都市として、外国人市民の支援を行う課題解決型の多文化共生施策に取り組んできた。</li> <li>・ 従来の課題解決型の多文化共生施策に加え、第 2 次浜松市国際戦略プラン (計画期間: 令和元年度～令和 5 年度) においても、ICC ネットワーク加盟を契機として多様性を生かしたまちづくりを進めることとしている。</li> </ul>
事業内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 ICC 政策の推進会議の形成 609 千円                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 多文化共生や ICC 専門家、産業、文化、市民協働等の多様な分野の実務者による協議会の設立。</li> <li>・ 欧州を始めとした ICC の先進事例研究・人材育成・異分野協働・情報発信を行い、国際レベルでも本市の多文化共生政策の水準を高めていく。</li> </ul> </li> <li>2 「多様性×ビジネス」アイデアソン・ミートアップイベントの開催 2,591 千円                     <p>外国人市民が持つ多様性をビジネスや経済成長、地域の活性化に積極的に活用するため、アイデアソン・ミートアップイベントを開催する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 日 時 令和 3 年 9 月以降を予定</li> <li>・ 参加者 外国にルーツをもつ人、起業・ビジネスに興味がある人などを想定</li> <li>・ テーマ 多様性×ビジネス</li> </ul> </li> </ol>

### ICC 政策の推進基盤のイメージ

ICC ネットワーク加盟都市  
(欧州を中心に世界 140 都市以上が加盟)





### 第3次浜松市ユニバーサルデザイン計画策定事業

市民部UD・男女共同参画課  
電話:457-2364

(単位:千円)

予算款	戦略計画 分野別計画	事業費	財源内訳			
			国・県	市債	その他	一般財源
総務費	地方自治・ 都市経営	461	0	0	0	461

※ユニバーサルデザイン推進事業 4,493千円の一部

目的	第2次浜松市ユニバーサルデザイン計画（U・優プランⅡ）が令和3年度に期間満了となるため、次期計画を策定する。
背景	<ul style="list-style-type: none"> <li>第2次浜松市ユニバーサルデザイン計画（U・優プランⅡ）の策定から10年、また、第2期推進計画の策定から5年が経過し、令和3年度に計画期間が満了となる。</li> <li>先導的共生社会ホストタウンに認定された本市において、多様な人々がさらに活躍できる社会の実現に向け、ユニバーサルデザインの考えに基づくまちづくりの推進が求められている。</li> </ul>
事業内容	<p>第3次浜松市ユニバーサルデザイン計画及び第1期推進計画を策定する。</p> <p>1 計画概要</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>計画名：第3次浜松市ユニバーサルデザイン計画</li> <li>期間：令和4年度～令和13年度（第3次ユニバーサルデザイン計画） 令和4年度～令和8年度（第1期推進計画）</li> </ul> <p>2 業務内容</p> <p>計画案の作成、ユニバーサルデザイン審議会による審議、学識経験者による助言、パブリックコメントの実施</p> <p>※令和2年度は、意識調査、地域住民及び高齢者、障がい者等を交えたワークショップ及び第3次ユニバーサルデザイン計画の体系整理を実施。</p> <p>3 スケジュール</p> <p>令和3年4月～8月 庁内検討会、ユニバーサルデザイン審議会 10月 パブリックコメントの実施</p> <p>令和4年 1月 ユニバーサルデザイン審議会 3月 計画完成</p>

#### 浜松市ユニバーサルデザイン計画（U・優プラン）

	U・優プラン		U・優プランⅡ		U・優プランⅢ	
基本計画	平成14年度～平成23年度		平成24年度～令和3年度		令和4年度～令和13年度	
推進計画	第1期推進計画 H14～H18	第2期推進計画 H19～H23	第1期推進計画 H24～H28	第2期推進計画 H29～R3	第1期推進計画 R4～R8	第2期推進計画 R9～R13

# 住民情報システムクラウド環境移行事業

企画調整部情報政策課  
電話: 457-2721

(単位: 千円)

予算款	戦略計画 分野別計画	事業費	財源内訳			
			国・県	市債	その他	一般財源
総務費	地方自治・ 都市経営	1,121,808	0	0	0	1,121,808

※住民情報系システム維持管理事業 1,350,287 千円の一部

目的	住民情報システム用サーバ及び周辺機器のリース期間満了に伴い、クラウド環境にシステムを移行し、ライフサイクルコストの削減を図る。
背景	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 情報化基本方針及びデジタルファースト宣言を受け、情報システムについて現行機器類の保守期限を契機に、順次システム基盤をクラウド上での稼働に移行することとしている。</li> <li>・ 住民情報システムを管理するサーバ機器類は、システム構築・運用開始から 5 年を経過しており、機器更新が必要である。</li> </ul>
事業内容	<p>リース期間満了を迎える住民情報システムを自庁サーバからクラウド環境へ移行する。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 住民情報システムクラウドの環境整備・移行作業 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 住民情報システムが稼働するクラウド環境構築</li> <li>・ 住民情報システム構築・データ移行・検証作業</li> </ul> </li> <li>2 住民情報システムクラウドサービス利用料</li> <li>3 住民情報システムソフトウェア等賃貸借</li> <li>4 住民情報システム運用保守（現行環境及び新環境）</li> <li>5 現行住民情報システム機器賃貸借（再リース）</li> </ol>



〈新規〉自治会等DXサポート事業

市民部市民協働・地域政策課  
電話:457-2094

(単位:千円)

予算款	戦略計画 分野別計画	事業費	財源内訳			
			国・県	市債	その他	一般財源
総務費	地方自治・ 都市経営	1,973	357	0	0	1,616

※関連課 中区区振興課(電話:457-2210)

※自治会等コミュニティ振興事業 29,475 千円の一部、区課題解決事業 5,068 千円の一部の合計

目的	新しい生活様式に対応した自治会等の活動実践、役員の負担軽減及び広報等のデジタル化に向けた土台づくりのため、ICTを活用するための講座を開催する。
背景	<ul style="list-style-type: none"> <li>自治会等では、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、従来の対面を中心としたさまざまな地域活動が停滞している。</li> <li>新しい生活様式に対応した組織運営を考える一助として、地域活動へのICT導入を自治会等が検討する契機が必要である。</li> </ul>
事業内容	<p>1 全体研修 294 千円(自治会連合会と共催) 自治会連合会理事を対象に、地域活動におけるSNS活用やICT導入事例にかかる講座を開催する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>対象:浜松市自治会連合会理事 50人</li> <li>回数:1回</li> </ul> <p>2 体験研修 420 千円(自治会連合会と共催) 自治会連合会を通じて参加者を募り、ICTの利便性を体験する講座を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>第1回:スマートフォン等機器の使い方講座</li> <li>第2回:HP・SNS(LINE、Facebook、Twitter等)の活用方法、Zoom体験等</li> <li>対象:希望する単位自治会長(各回20人×2講座×3会場)</li> </ul> <p>3 実践講座 1,259 千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>中区の地区自治会連合会のモデル地区(2地区)において実践講座を実施</li> <li>オンライン会議の利用方法やグループワーク機能等の実習</li> <li>コミュニティ担当職員が実用性を検証</li> </ul>

【研修会イメージ】

全体研修



体験研修・実践講座



〈新規〉ハマライフ住宅取得費等助成事業

市民部市民協働・地域政策課  
電話: 457-2243

(単位: 千円)

予算款	戦略計画 分野別計画	事業費	財源内訳			
			国・県	市債	その他	一般財源
総務費	地方自治・ 都市経営	65,000	0	0	0	65,000

目的	市外からの移住者に対する住宅取得にかかる補助金を創設し、移住希望者のニーズに応え、市外から本市への移住を促進する。
背景	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症の影響で、人が密集する都市での生活を避ける地方回帰の機運がさらに高まっており、本市への移住につながる好機である。</li> <li>・コロナ禍の移住相談において、住宅取得費や引越費用に関する補助金の問い合わせが増加している。</li> </ul>
事業内容	<p>市外からの移住者に対し、住宅の取得や移転等にかかる費用を助成する。</p> <p>1 対象者 以下の全ての要件を満たす者</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市外からの移住（市外居住期間5年以上）</li> <li>・夫婦ともに50歳未満</li> <li>・取得した住宅又は市内の賃貸住宅に5年以上居住する意思を有する者</li> <li>・令和3年4月1日以降に移住する者</li> </ul> <p>2 対象経費</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・住宅の取得費</li> <li>・増改築又はリフォーム費用</li> <li>・賃貸に係る初期費用</li> <li>・引越移転費用</li> </ul> <p>3 補助率 対象経費の1/2以内、上限1,000千円</p>
対象者の例	<p>夫婦で市外から移住 ○</p> <p>婚姻で市外から移住 ○</p> <p>市内転居はNG×</p> <p>単身赴任先に家族で移住 ○</p>

〈新規〉 中山間地域交流デラックス事業

市民部市民協働・地域政策課

電話：457-2243

(単位：千円)

予算款	戦略計画 分野別計画	事業費	財源内訳			
			国・県	市債	その他	一般財源
総務費	地方自治・ 都市経営	2,312	1,156	0	0	1,156

※交流促進事業 6,963 千円の一部

目的	都市部及び中山間地域の市民が、相互に交流する機会を創出することで、市内間の連携・協働による地域づくりを促進する。
背景	都市部や中山間地域住民の市内間交流を促進するため、あらゆる世代の交流機会が必要である。
事業内容	<p>都市部の個人や家族、団体等を対象として、中山間地域の魅力ある体験をパッケージしたオリジナルツアーを開催する。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 参加対象者 都市部のあらゆる世代の住民、団体（約 200 人）</li> <li>2 開催方法 現地やリモートでの開催</li> <li>3 ツアー内容 <ul style="list-style-type: none"> <li>・都市部の子供会などが中山間地域を訪れ、地域（自治会、市民活動団体等）との交流や、生活、文化等に触れるワークショップ</li> <li>・中山間地域の魅力を体験できるバスツアー</li> <li>・中山間地域の生活に根差した優れた技を持つ人物を講師としたワークショップ</li> </ul> </li> <li>4 参加費                    2,000 円程度/人（昼食代を含む）</li> </ol>



ワークショップの様子  
(現地参加型)



(リモート参加型)



団体交流の様子  
(バスツアー参加型)





〈新規〉山里いきいき応援隊マネジメント事業

市民部市民協働・地域政策課  
電話：457-2243

(単位：千円)

予算款	戦略計画 分野別計画	事業費	財源内訳			
			国・県	市債	その他	一般財源
総務費	地方自治・ 都市経営	2,031	0	0	0	2,031

※山里いきいき応援隊活動事業 46,627 千円の一部

目的	浜松山里いきいき応援隊マネージャーを設置し、隊員活動のコーディネートや研修を行うことで活動の活性化や横展開を図る。
背景	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成 25 年度から 6 地域に浜松山里いきいき応援隊を設置し、現在は 12 人が活動している。</li> <li>・地域ごとの活動を地域横断型で取り組むことが重要である。</li> </ul>
事業内容	<p>1 山里いきいき応援隊マネージャーの設置 隊員経験者で現在地域に定住している者等がマネージャーとなり、隊員活動のサポートを行う。</p> <p>2 業務内容</p> <p>(1) 研修会及びミーティングの開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・隊員活動期間中や退任後の起業などに向けた事業プランニング研修</li> <li>・地域活性化事業の優良事例の紹介や、市内外の地域活性化に取り組んでいる方を招いた研修</li> <li>・地域課題へのアプローチ手法、地域住民や行政担当者とのコミュニケーションなど、隊員活動における課題解決に対する個別アドバイス</li> </ul> <p>(2) 地域横断型の事業展開のマネジメント</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・隊員目線での中山間地域全体の魅力発信</li> <li>・個々の隊員スキルを組み合わせた地域課題解決のコーディネート</li> <li>・地域活性化に取り組んでいる住民や団体・企業などキーパーソンとのマッチング</li> </ul>
	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>隊員活動の様子</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>隊員ミーティングの様子</p> </div> </div>

(単位: 千円)

予算款	戦略計画 分野別計画	事業費	財源内訳			
			国・県	市債	その他	一般財源
総務費	地方自治・ 都市経営	3,230	0	0	0	3,230

目的	新たな産業を創出し、中山間地域における定住人口を拡大することにより、中山間地域を活性化させる。
背景	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成 27 年度から、学識経験者、専門家等を交えた「中山間地域新たな仕事づくり研究会」を設置し、新たな産業の創出可能性の調査研究を実施している。</li> <li>令和 2 年度から、副業・兼業での民間専門人材を活用し、中山間地域の資源を用いた新たなビジネスモデルの構築に向けて検討している。</li> </ul>
事業内容	<p>中山間地域におけるあらたな仕事づくりのための事業プランニング</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>副業・兼業での民間専門人材の活用 <ul style="list-style-type: none"> <li>農林水産物やジビエ等の地域資源を活用した新たなビジネスモデルを構築</li> <li>地域が自立して持続していくための体制構築を支援</li> <li>アワビの陸上養殖技術を収益化するため、デジタル利活用によるビジネスモデルの構築と実装化に向けた提案</li> </ul> </li> <li>新たな仕事づくり研究会の開催 <ul style="list-style-type: none"> <li>学識経験者、金融機関、中山間地域の NPO 法人、技術・知見を有する者等を専門委員に委嘱</li> <li>月 1 回程度研究会の開催や事業化に向けた実証実験を行う。</li> </ul> </li> </ol>



新たな仕事づくり研究会の様子



アワビの陸上養殖の様子

〈拡充〉空家等除却促進事業

市民部市民生活課  
電話: 457-2231

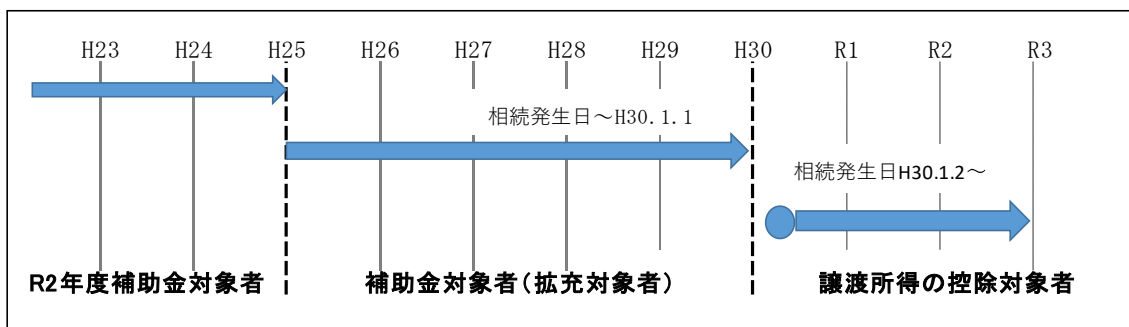
(単位: 千円)

予算款	戦略計画 分野別計画	事業費	財源内訳			
			国・県	市債	その他	一般財源
総務費	安全・安心 ・快適	10,000	0	0	0	10,000

※空家対策事業 20,743 千円の一部

目的	危険な空家となる前に自発的な解体を促し、空家の解消を図るため、空家等除却促進事業費補助金の対象範囲を拡大する。													
背景	<ul style="list-style-type: none"> <li>・空家の除却を推進する国の施策として、譲渡所得を控除する制度があるが、対象が限定されている。</li> <li>・令和 2 年度に空家等除却促進事業費補助金を創設し、老朽化した空家が市民の生活環境に深刻な影響を及ぼさないよう、空家の自発的解体を促している。</li> </ul>													
事業内容	<p>国の譲渡所得を控除する制度は相続後 3 年以内を対象としているため、すでに対象から外れた者 (H25. 1. 2~H30. 1. 1 に相続を開始した者) を補助金の対象者とする。</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th></th> <th>改正前</th> <th>改正後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>対象</td> <td>相続によって取得された空家で S56. 5. 31 以前に建築されたもの</td> <td>同左</td> </tr> <tr> <td>対象者</td> <td>平成 25 年 1 月 1 日以前に空家を相続した者</td> <td>平成 30 年 1 月 1 日以前に空家を相続した者</td> </tr> <tr> <td>補助率 (上限)</td> <td>1/3 (限度額 50 万円)</td> <td>同左</td> </tr> </tbody> </table>			改正前	改正後	対象	相続によって取得された空家で S56. 5. 31 以前に建築されたもの	同左	対象者	平成 25 年 1 月 1 日以前に空家を相続した者	平成 30 年 1 月 1 日以前に空家を相続した者	補助率 (上限)	1/3 (限度額 50 万円)	同左
	改正前	改正後												
対象	相続によって取得された空家で S56. 5. 31 以前に建築されたもの	同左												
対象者	平成 25 年 1 月 1 日以前に空家を相続した者	平成 30 年 1 月 1 日以前に空家を相続した者												
補助率 (上限)	1/3 (限度額 50 万円)	同左												

【イメージ】令和 3 年度における補助金対象者と国の譲渡所得対象者





(単位: 千円)

予算款	戦略計画 分野別計画	事業費	財源内訳			
			国・県	市債	その他	一般財源
総務費	地方自治・ 都市経営	85,177	33,218	0	0	51,959

※デジタル・スマートシティ推進事業 48,477 千円、(新規) 浜松版 MaaS 推進事業 14,517 千円、  
(新規) デジタル・ガバメント推進事業 16,598 千円、(新規) デジタル・マーケティング推進  
事業 5,585 千円の合計

目的	令和2年度に策定する「デジタル・スマートシティ構想」の将来像「デジタルで“繋がる未来”を共創」や目指す方向性である「市民QoL(生活の質)の向上」、「都市の最適化」の実現に向け、官民共創によるデジタル・スマートシティの取組を推進する。
背景	<ul style="list-style-type: none"> <li>「デジタルファースト宣言」に基づき、令和2年4月に司令塔としてのデジタル・スマートシティ推進事業本部とともに、官民連携プラットフォームを設立した。</li> <li>国においても、令和2年12月に「自治体デジタル・トランスフォーメーション(DX)推進計画」を策定するとともに、司令塔として令和3年9月には「デジタル庁」の創設が予定されている。</li> </ul>
事業内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>デジタル・スマートシティ推進事業 48,477 千円                             <ul style="list-style-type: none"> <li>官民連携プラットフォームによる各種取組の推進</li> <li>デジタル・スマートシティマンス(関連イベントやセミナー)の開催</li> <li>データ連携基盤の整備及び運用、実証実験の実施 など</li> </ul> </li> <li>浜松版 MaaS 推進事業 14,517 千円                             <ul style="list-style-type: none"> <li>モビリティサービス推進コンソーシアムによる各種取組の推進</li> <li>共助型地域交通等推進モデル事業の実施</li> </ul> </li> <li>デジタル・ガバメント推進事業 16,598 千円                             <ul style="list-style-type: none"> <li>AI(人工知能)・RPA(ロボットによる業務自動化)等先進技術の導入促進</li> <li>協働センター等におけるインターネット環境の整備 など</li> </ul> </li> <li>デジタル・マーケティング推進事業 5,585 千円                             <ul style="list-style-type: none"> <li>デジタル・マーケティング相談支援及び人材育成事業の実施 など</li> </ul> </li> </ol>

デジタル・スマートシティ構想 目指す方向性(基本理念)



〈新規〉 データ連携基盤整備・運用事業

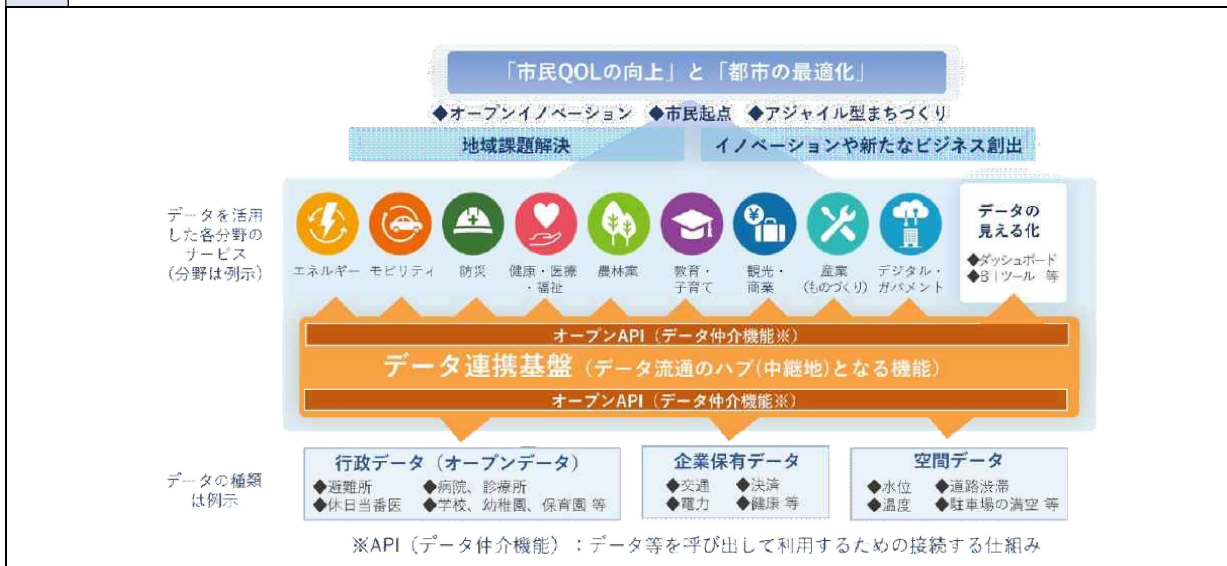
デジタル・スマートシティ推進事業本部  
電話: 457-2454

(単位: 千円)

予算款	戦略計画 分野別計画	事業費	財源内訳			
			国・県	市債	その他	一般財源
総務費	地方自治・ 都市経営	32,500	16,250	0	0	16,250

※デジタル・スマートシティ推進事業 48,477 千円の一部

目的	データの流通や利活用を促し、新たな価値創出によるイノベーションを創発するため、データ連携基盤を整備する。
背景	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国が目指す「スマートシティの構築を通じた Society 5.0 の実現」に向け、「統合イノベーション戦略 2020」等において、データを流通させるデータ連携基盤整備の必要性が示されている。</li> <li>・本市は、令和 2 年度よりデータ連携基盤（実証環境）を活用した実証実験「Hamamatsu ORI-Project」を開始し、本格整備に向けたユースケースの創出に取り組んでいる。</li> </ul>
事業内容	<p>1 データ連携基盤整備事業</p> <p>(1) データ連携基盤（本番環境）初期設定作業 データ連携基盤の利用にあたっての初期設定及び利用者向けのマニュアル作成等</p> <p>(2) 外部連携システム構築 浜松市オープンデータプラットフォームをはじめとした、他のデータプラットフォームやセンサー等からのデータ等を繋げる「ハブ」となる機能の構築</p> <p>2 データ連携基盤運用事業</p> <p>(1) データ連携基盤（本番環境）利用 データ連携基盤のメンテナンスや障害対応、問い合わせ対応などの管理業務及び稼働状況や利用状況をまとめた月次レポートの提出</p> <p>(2) 外部連携システム利用 データ連携基盤の利用に必要なサーバ保守等のメンテナンス</p>



〈新規〉協働センター等Wi-Fi整備事業

デジタル・スマートシティ推進事業本部  
電話: 457-2454

(単位: 千円)

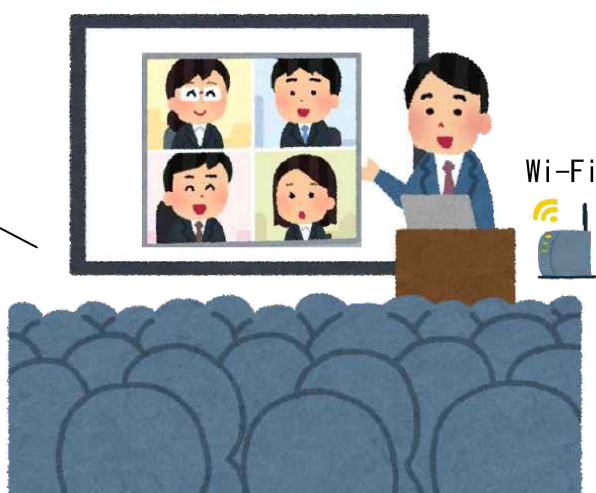
予算款	戦略計画 分野別計画	事業費	財源内訳			
			国・県	市債	その他	一般財源
総務費	地方自治・ 都市経営	3,102	0	0	0	3,102

※ (新規) デジタル・ガバメント推進事業 16,598 千円の一部

目的	地域住民にとって身近な施設である協働センター等でのインターネット利用環境を整備し、市民団体等が活動しやすい環境を提供する。
背景	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 新型コロナウイルス感染症が拡大し、非対面でのコミュニケーションが求められる中、市民団体においてもデジタルを活用した活動に取り組む動きが出てきている。</li> <li>・ 市民団体等がオンラインにて講座等を開催する際の回線として、協働センター等におけるインターネット環境のニーズが高まっている。</li> </ul>
事業内容	<p>協働センター等の各館 1 会議室に、オンライン会議や講座等が開催できる Wi-Fi ルーターを整備する。</p> <p>整備先施設 (47 館)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市民協働センター 35 館 (貸館を実施していない引佐、春野、佐久間、水窪は除く)</li> <li>・ ふれあいセンター 8 館</li> <li>・ その他会館等 4 館 (引佐多目的研修センター、春野文化センター、水窪文化会館、佐久間歴史と民話の郷会館・旧佐久間協働センター)</li> </ul>



協働センター等



〈活用事例〉

- ・ 会議の開催時にその場にはいない人もオンラインで参加
- ・ 講座の開催時に遠方の講師のオンライン参加やその場にはいない人への配信

〈新規〉 いっかもないか事業

天竜区振興課  
電話:922-0011

(単位:千円)

予算款	戦略計画 分野別計画	事業費	財源内訳			
			国・県	市債	その他	一般財源
総務費	地方自治・ 都市経営	581	0	0	0	581

※区課題解決事業 3,027 千円の一部

目的	水窪出身者等（地域応援団）と地域の情報を共有し、連携して持続可能な地域づくりにつなげるための取り組みを行う。
背景	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水窪地域は、年間を通して水窪出身者や観光客など多数の交流があるが、少子高齢化が急速に進み、今後、地域を維持することが困難になっていくことが想定される。</li> <li>・コロナ禍に伴う帰省自粛やイベント中止などにより交流人口が減少しており、水窪地域と出身者等との関係性の希薄化を食い止め地域力を維持するためには、住民と行政が協働して地域を応援してくれる人たちとのつながりを強化する必要がある。</li> </ul>
事業内容	<p>観光協会や地元 NPO 法人などの地域関係団体との協働により、水窪出身者等とのつながりの強化、地域応援団としての支援組織の構築に向けた事業を行う。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 水窪 PR ボックス「いっかもないか」の作製 水窪地域の特色や地域情報発信サイトへ誘導する QR コードを掲載した小包用の専用ボックスを作製し、地域の情報発信ツールとして住民や商店等が活用する。</li> <li>2 動画「時季の水窪」の発信 住民のメッセージや水窪地域の季節感溢れる風景、地域イベント等を収録。</li> <li>3 「(仮称)みさくぼ応援団」の結成 水窪出身者や交流希望者等から地域支援ボランティアを募集し、イベントや催事等を通じて地域の活性化を図る。</li> </ol>
1	
2	
3	
<p>※「いっかもないか」＝「元気にしてるか？」という意味の水窪弁。</p>	



# 浜松国際ピアノコンクール開催事業

市民部創造都市・文化振興課  
電話: 457-2417

(単位: 千円)

予算款	戦略計画 分野別計画	事業費	財源内訳			
			国・県	市債	その他	一般財源
総務費	文化・生涯学習	140,377	0	0	140,377	0

※財源（その他）文化振興基金繰入金

目的	世界の優秀な若手ピアニストを発掘・育成するとともに、市民に対し質の高い音楽を提供することで、「音楽の都・浜松」を世界へ発信する。		
背景	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成3年から3年に1度開催し、前回大会は1次予選から本選、入賞者披露演奏会まで全てのチケットが完売した。</li> <li>・リアルタイムでの映像配信も行い、前回大会では84の国と地域で80万件以上のダウンロード実績があった。</li> </ul>		
事業内容	<p>第11回浜松国際ピアノコンクールの開催</p> <p>1 開催期日 令和3年11月7日 オープニングコンサート                      令和3年11月13日～11月24日 予選（1次～3次）                      令和3年11月27日～11月28日 本選                      令和3年11月29日 入賞者披露演奏会</p> <p>2 開催会場 アクトシティ浜松 大ホール 中ホール</p> <p>3 記念公演 三浦謙司×中桐望×新日本フィルハーモニー交響楽団                      令和3年5月10日、アクトシティ浜松中ホール</p> <p>4 前回大会 第1次予選出場者 88人                      優勝者 ジャン・チャクムル                      観覧者数 24,811人</p>		

前回大会の様子





前回大会の優勝者



(単位:千円)

予算款	戦略計画 分野別計画	事業費	財源内訳			
			国・県	市債	その他	一般財源
総務費	文化・生涯学習	59,740	30,000	0	0	29,740

目的	「響き」をキーワードに地域のクリエイター・アーティスト、市民団体や企業、学生など民間活力を引き出し、従来の固定観念（楽器、音楽、演奏）に捉われない「音」を活用した創造的なプロダクトや表現活動により新たな付加価値を創出する。
背景	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会にあわせ、国をあげて日本固有の文化の魅力を世界に広く発信する文化プログラムを推進している。</li> <li>・平成 30 年度から 3 か年において、文化プログラム事業を順次実施し、令和 2 年度は「サウンドデザインフェスティバル in 浜松 2020」の開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止した。</li> </ul>
事業内容	<p>音の可能性や創造性を活かした「創造都市・浜松」を推進するイベントの開催</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 名称 はままつ響きの創造プロジェクト 「サウンドデザインフェスティバル in 浜松 2021」</li> <li>2 日時 令和3年12月11日(土)～12月12日(日)</li> <li>3 会場 アクトシティ浜松展示イベントホール、浜松市楽器博物館、浜松科学館</li> <li>4 内容 アーティスト・クリエイター、市民団体、学生、企業等によるサウンドデザインに関する体験型作品展示、ワークショップ、ライブパフォーマンスとカンファレンス、ミートアップについて、リアルとリモートを織り交ぜて開催</li> </ol>
※参考	「サウンドデザインフェスティバル in 浜松 2017」より
	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>ビジュアルイメージ</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>音を活用した体験型作品</p> </div> </div>

# 市民音楽ホール管理運営事業及び整備事業

市民部創造都市・文化振興課  
電話: 457-2417

(単位: 千円)

予算款	戦略計画 分野別計画	事業費	財源内訳			
			国・県	市債	その他	一般財源
総務費	文化・生涯学習	208,783	0	0	123,166	85,617

※市民音楽ホール管理運営事業 118,569 千円、市民音楽ホール整備事業 90,214 千円の合計

目的	市民の音楽文化活動や学習成果等の発表の場を創出することにより、市民の文化の振興を図るため、北区新都田に市民音楽ホールを整備し、管理運営を行う。
背景	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育文化会館（はまホール）検証検討会の提言を踏まえ、創造都市政策における「浜松市市民文化創造拠点施設基本構想」を平成 29 年度に策定したが、長期的な取組が必要となることから、市民音楽ホールの新築を決定した。</li> <li>・令和元年度に新築工事を開始し、令和 3 年 3 月竣工予定である。</li> </ul>
事業内容	<p>1 施設概要</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・北区新都田三丁目、鉄骨造一部鉄筋コンクリート造地上 5 階、延床面積 5,986 ㎡</li> <li>・ホール（1,414 席）、楽屋（4 室）、多目的室（3 室）、授乳室、駐車場 459 台</li> <li>・ホール舞台：間口 21.2m×奥行 12.4m、大編成の吹奏楽に対応できる舞台の広さ</li> </ul> <p>2 令和 3 年度事業</p> <p>(1) 指定管理 82,500 千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・期 間 令和 3 年 6 月から令和 6 年 3 月まで</li> <li>・指定管理者 公益財団法人浜松市文化振興財団</li> </ul> <p>(2) 物品購入 85,993 千円</p> <p>楽器、舞台大道具、机、椅子等</p> <p>(3) その他 40,290 千円</p> <p>光熱水費、プロジェクターリース料、開館記念イベント開催業務委託等</p> <p>3 スケジュール</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和 3 年 6 月 1 日 開館式典、指定管理開始</li> <li>・令和 3 年 6 月 20 日ほか 合唱、吹奏楽等の開館記念コンサート等</li> <li>・令和 3 年 7 月 1 日 供用開始</li> </ul>



外観イメージ



ホールイメージ

# アクトシティ浜松改修事業

市民部創造都市・文化振興課

電話:457-2417

(単位：千円)

予算款	戦略計画 分野別計画	事業費	財源内訳			
			国・県	市債	その他	一般財源
総務費	文化・生涯学習	503,730	0	53,800	390,790	59,140

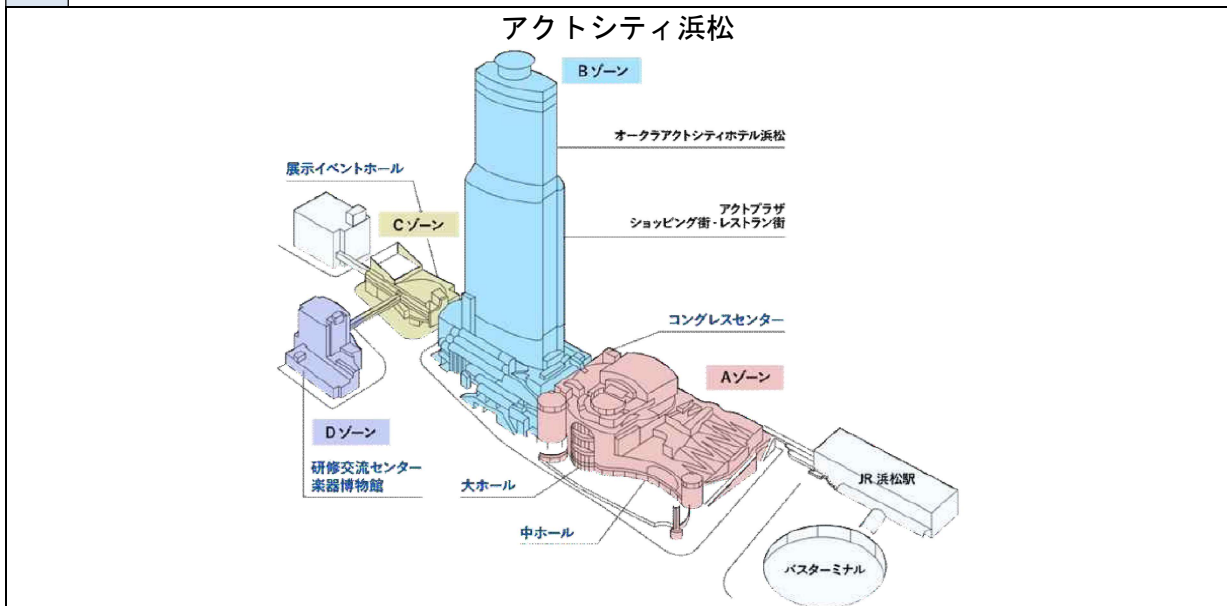
※文化施設整備事業 507,230 千円の一部

※財源（その他）文化振興基金繰入金 361,689 千円、資産管理基金繰入金 18,101 千円ほか

※債務負担行為 事項：アクトシティ浜松舞台特殊設備基本方針策定業務委託費

期間：令和4年度まで 限度額：17,001 千円

目的	アクトシティ浜松施設改修計画に基づき、老朽化した設備等の更新を進め、施設の安全・安心な利用を図る。
背景	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成6年建設で26年経過しており、施設の老朽化が進んでいる。</li> <li>令和元年度に策定したアクトシティ浜松大規模修繕計画（令和3年度～令和12年度）を基に、設備の適切な規模や機能を検討し、効果的な手法で改修を実施する。</li> </ul>
事業内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>大規模修繕に向けた検討 55,090 千円 <ul style="list-style-type: none"> <li>特定天井基本計画策定 29,384 千円</li> <li>舞台特殊設備基本方針策定 11,334 千円 (R4：17,001 千円)</li> <li>空調設備及び給排水設備配管劣化診断 14,372 千円</li> </ul> </li> <li>令和3年度の主な工事内容 448,640 千円 <ul style="list-style-type: none"> <li>Dゾーン自動制御機器更新工事 142,477 千円</li> <li>ガラスアーケードガラス交換・塗装工事 83,988 千円</li> <li>給水設備（弁・計器類）更新工事 71,901 千円</li> <li>Aゾーン北側螺旋階段改修工事 51,539 千円</li> <li>Dゾーン空調設備整備工事 51,271 千円</li> <li>Dゾーン送風機等更新工事 他 47,464 千円</li> </ul> </li> </ol>





〈拡充〉 トップアスリート連携事業

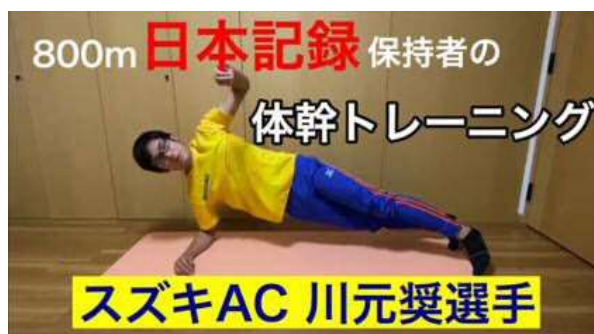
市民部スポーツ振興課  
電話: 457-2421

(単位: 千円)

予算款	戦略計画 分野別計画	事業費	財源内訳			
			国・県	市債	その他	一般財源
総務費	文化・生涯学習	2,601	0	0	0	2,601

※スポーツ普及・活性化事業 4,983 千円の一部

目的	トップアスリートを学校などに派遣し、体験教室や講演会を開催することで、スポーツを通して子供たちの前向きな意欲をはぐくみ、将来のスポーツ実施者の増加や次世代アスリートの育成を図る。
背景	平成28年度の事業開始以来、陸上競技、バレーボール、ラグビー、野球などのアスリート延327人が、81校・8,657人の児童・生徒と交流した。
事業内容	<p>1 (拡充) 学校などへのトップアスリート派遣 (25回予定 令和2年度:22回)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校や幼稚園、スポーツ少年団等でスポーツ教室や講演会を開催</li> <li>・新たにパラアスリートなどに協力いただき、パラスポーツから得られる勇気やインスピレーションを学ぶとともに、インクルーシブスポーツ(※)の体験を通して共生社会の実現を図る</li> </ul> <p>※年齢や障がいの有無などに関わらず誰にでも楽しめるスポーツ(例:ボッチャ、ゴールボール)</p> <p>2 (新規) トップアスリートとの交流イベント (3回予定)</p> <p>子供から大人まで全ての年齢層を対象に、トップアスリートと交流できるイベントを開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日時 令和3年11月ごろ</li> <li>・場所 浜松アリーナ、サーラグリーンアリーナなどを予定</li> <li>・内容 陸上競技、バレーボール、フットサル等の体験教室及びトップアスリートとの交流会</li> </ul>



おうちトレーニング動画配信



小学校でのラグビー体験

# ブラジルホストタウン交流事業

市民部スポーツ振興課  
電話: 457-2421

(単位: 千円)

予算款	戦略計画 分野別計画	事業費	財源内訳			
			国・県	市債	その他	一般財源
総務費	文化・生涯学習	52,868	0	0	0	52,868

※国の補正予算対応、繰越明許費

2月補正計上 762,500千円、当初計上 52,868千円、合計 815,368千円

目的	令和3年度に延期された東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会におけるブラジル選手団の受入態勢を整え、市民との交流を通して本市の共生社会の深化を図る。
背景	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ブラジルオリンピック及びパラリンピック両委員会と締結した事前合宿に関する協定書について、延期に伴い、令和2年9月に期間延長の変更協定を締結した。</li> <li>・新型コロナウイルス感染症対策に対する国県補助を活用するため、令和2年度9月補正で設定した債務負担行為の年度割を変更し、令和2年度分は繰り越して執行する。</li> </ul>
事業内容	<p>1 ブラジル選手団受入など 815,368千円 (2月補正762,500千円、当初52,868千円)</p> <p>(1) 事前合宿の宿泊・食事・交通輸送 467,396千円 (2月補正)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・オリンピック 7競技、最大162人、22日間、練習会場8施設</li> <li>・パラリンピック 19競技、最大397人、14日間、練習会場16施設</li> </ul> <p>(2) 練習環境の整備 257,657千円 (2月補正236,260千円、当初21,397千円)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・練習会場設営、会場使用料</li> <li>・トレーニング機器リース</li> <li>・競技用備品購入など</li> </ul> <p>(3) その他 90,315千円 (2月補正58,844千円、当初31,471千円)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・Torcida BRASIL 管理センター運営委託</li> <li>・ブラジル選手団受入PR装飾、出陣式</li> <li>・オリンピック、パラリンピック以外の国際大会における合宿受入など</li> </ul> <p>2 債務負担行為 (変更)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事項 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会ブラジル選手団事前合宿受入事業費</li> <li>・期間 令和2年度から令和3年度まで</li> <li>・限度額 変更前 729,055千円 (令和2年度計上: 0千円) 変更後 30,702千円 (令和2年度計上: 762,500千円)</li> </ul> <p>3 (再掲) 事前合宿などにおける感染症対策 166,272千円 (2月補正)</p>



ブラジルオリンピック委員会及びブラジルパラリンピック委員会との変更協定締結



交流合宿の風景 (トライアスロン)

(単位: 千円)

予算款	戦略計画 分野別計画	事業費	財源内訳			
			国・県	市債	その他	一般財源
総務費	文化・生涯学習	27,498	13,288	0	0	14,210

※大型スポーツイベント等誘致事業 32,750 千円の一部

目的	聖火リレーの実施やライブサイトの運営を通じて、本市の魅力やブラジルホストタウンの取り組みを国内外に発信する。
背景	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和3年7月23日から8月8日まで東京2020オリンピック競技大会、令和2年8月24日から9月5日まで東京2020パラリンピック競技大会が開催される。</li> <li>令和3年3月から7月にかけて、全国47都道府県でオリンピック聖火リレー、8月に4都県でパラリンピック聖火リレーが行われ、本市は、オリンピック・パラリンピックの聖火リレールートの中継地点として選定されている。</li> </ul>
事業内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>オリンピック聖火リレー事業 7,794 千円 <ul style="list-style-type: none"> <li>日程 令和3年6月23日</li> <li>ルート 浜松市内</li> <li>内容 聖火リレーに伴うイベントなど</li> </ul> </li> <li>パラリンピック聖火リレー事業 7,991 千円 競技会場のある東京都、埼玉県、千葉県、静岡県のみで実施 <ul style="list-style-type: none"> <li>日程 令和3年8月17日</li> <li>ルート 県内を巡るルート</li> <li>内容 聖火リレーに伴うイベントなど</li> </ul> </li> <li>東京2020ライブサイト事業など 11,713 千円 <ul style="list-style-type: none"> <li>日程 オリンピック及びパラリンピック期間中</li> <li>内容 競技映像放映、ステージイベントなど</li> </ul> </li> </ol>
	
<p>オリンピック聖火トーチ</p> <p>オリンピック聖火リレー伴走車</p>	

# ビーチ・マリンスポーツ推進事業

市民部スポーツ振興課  
電話: 457-2421

(単位: 千円)

予算款	戦略計画 分野別計画	事業費	財源内訳			
			国・県	市債	その他	一般財源
総務費	文化・生涯学習	63,145	3,500	0	0	59,645

※関連課 産業部観光・シティプロモーション課 (電話:457-2295)、都市整備部公園管理事務所 (電話:473-1829)

※大型スポーツイベント等誘致事業 32,750 千円の一部、ビーチ・マリンスポーツ推進事業 41,348 千円、シティプロモーション事業 168,361 千円の一部、ビーチスポーツ施設整備事業 3,403 千円の合計

目的	ビーチ・マリンスポーツ事業化計画に基づいたスポーツ環境の整備やイベントの開催などを通して、「ビーチ・マリンスポーツの聖地」としてのブランド価値を高める。		
背景	大会誘致ゾーンの一つである江之島地区において、国際大会が可能なビーチコートを整備し、令和6年7月の供用開始を目指している。		
事業内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>スポーツ環境の整備                     <ul style="list-style-type: none"> <li>江之島地区整備基本設計 (スポーツ振興課) 39,237 千円</li> <li>江之島児童プール他解体設計 (スポーツ振興課) 1,394 千円</li> <li>遠州灘海浜公園江之島地区水泳場他解体事業費 (債務負担行為) 期間 令和3年度から令和5年度まで 限度額 425,127 千円 (R4: 212,563 千円、R5: 212,564 千円)</li> </ul> </li> <li>イベント開催及び情報発信 (観光・シティプロモーション課)                     <ul style="list-style-type: none"> <li>音楽とビーチ・マリンスポーツを融合した「フェス」開催 10,000 千円</li> <li>ビーチ・マリンスポーツ推進イベント開催 6,000 千円</li> <li>ビーチ・マリンスポーツの聖地 WEB 運営 1,000 千円</li> </ul> </li> <li>その他                     <ul style="list-style-type: none"> <li>江之島プール廃棄物処分など (公園管理事務所) 3,403 千円</li> <li>大会助成補助金など (スポーツ振興課) 2,111 千円</li> </ul> </li> </ol>		



ビーチコート計画図



ビーチバレーボール大会



スポーツ施設整備事業

市民部スポーツ振興課  
電話：457-2421

(単位：千円)

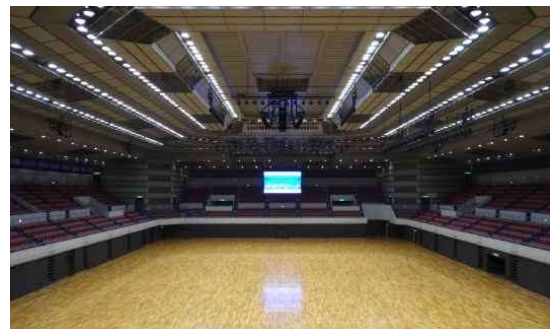
予算款	戦略計画 分野別計画	事業費	財源内訳			
			国・県	市債	その他	一般財源
総務費	文化・生涯学習	636,846	0	333,400	144,901	158,545

※財源（その他）資産管理基金繰入金 69,151 千円ほか

目的	老朽化したスポーツ施設の改修を計画的に行い、施設の安全性と利便性を確保する。			
背景	55か所のスポーツ施設（令和3年2月現在）について、緊急度の高いものから順に改修を行い、施設の機能を維持する。			
事業内容	(単位：千円)			
	No.	施設名	内容	事業費
	1	江之島アーチェリー場	移設工事（令和3年8月供用開始予定）	168,199
	2	浜松アリーナ	舞台照明設備更新工事 中央監視装置更新工事 など	146,274
	3	浜松球場	高圧受変電設備改修工事 夜間照明塔塗装工事設計	79,518
	4	天竜体育館	法面对策工事、大規模改修設計	70,451
	5	天竜ボート場	配艇所護岸の改修工事設計 女子ダブルスカル艇 13 艇購入	38,647
	6	細江総合体育センター	高所窓サッシの更新工事	23,102
	7	可美公園総合センター	天井・壁クロス張替工事	15,932
	8	三ヶ日運動場	駐車場舗装修繕工事	15,576
	9	その他	緊急修繕対応 など	79,147
合 計			636,846	



江之島アーチェリー場イメージ図



浜松アリーナ

〈新規〉WRO（ワールド・ロボット・オリンピアド）Japan2022  
決勝大会誘致事業

市民部創造都市・文化振興課

電話：457-2417

（単位：千円）

予算款	戦略計画 分野別計画	事業費	財源内訳			
			国・県	市債	その他	一般財源
総務費	文化・生涯学習	285	0	0	0	285

※子どもの才能を伸ばす課外講座開催事業 13,636千円の一部

目的	小中高校生を対象としたロボットプログラミング技術を競う全国大会を誘致し、地域産業の発展に貢献する人材の育成とデジタルスマートシティの発信を図る。
背景	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ WRO は平成 16 年から毎年開催されており、地区予選会を勝ち抜いたチームで競う決勝大会の上位チームは国際大会に出場する。</li> <li>・ 本市においても、NPO法人浜松ソフト産業協会を中心とする実行委員会が予選会を開催しており、平成29年度に市内小学校のチームが決勝大会で優勝し、国際大会に出場した。</li> </ul>
事業内容	<p>WROJapan 2022 決勝大会の浜松開催に向けて誘致活動を実施</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 令和3年度 2021 決勝大会の視察、NPO 法人 WRO Japan との協議</li> <li>2 令和4年度 誘致に成功した場合、産学官が連携して実行委員会を立ち上げ、決勝大会を開催 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 日時 令和4年8月28日（日）（予定）</li> <li>・ 場所 浜松アリーナ（予定）</li> </ul> </li> <li>3 大会概要 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 主催 NPO 法人 WRO Japan</li> <li>・ チーム数 予選：2,046 チーム、決勝大会：150 チーム（令和元年度実績）</li> </ul> </li> </ol>

過去の大会の様子



# プラネタリウム機器更新事業

市民部創造都市・文化振興課  
電話: 457-2417

(単位: 千円)

予算款	戦略計画 分野別計画	事業費	財源内訳			
			国・県	市債	その他	一般財源
総務費	文化・生涯学習	14,381	0	0	0	14,381

※科学館運営事業 184,871 千円の一部

目的	耐用年数を経過した科学館のプラネタリウム機器を更新し、正確で安定的な投映を実現する。
背景	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プラネタリウムは、光学式及びデジタル式の2種類の機器を同時に使用してプログラムを投映しているが、ともに耐用年数を経過している。</li> <li>・来館者の50%以上がプラネタリウムを観覧しているほか、学校の授業の一環で利用されており、今後も一定の需要が見込まれる。</li> </ul>
事業内容	<p>新たな光学式及びデジタル式プラネタリウムを令和4年3月からリースにて導入する。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 プラネタリウム機器リース料 4,266 千円 <ul style="list-style-type: none"> <li>・光学式プラネタリウム 1式 従来の1.5倍以上となる38万個以上の星で構成される天の川等を高輝度LEDにより鮮明に投映</li> <li>・デジタル式プラネタリウム 1式 星座の絵や浜松市の航空写真等の映像を従来の5倍以上の解像度でドーム全体に投映。光学式プラネタリウムとともに使用することで、より迫力のある演出を実現</li> </ul> </li> <li>2 機器更新に伴うプラネタリウム休止補償 10,115 千円 更新作業により休止となる秋から冬にかけての約5か月間の観覧料相当を補填</li> <li>3 債務負担行為 <ul style="list-style-type: none"> <li>・事項 科学館プラネタリウム機器リース料</li> <li>・期間 令和3年度から令和10年度まで</li> <li>・限度額 354,078 千円</li> </ul> </li> <li>4 科学館来場者数 令和3年度目標 260,000 人 (令和元年度実績 248,155 人 (4か月休館あり))</li> </ol>

プラネタリウムドームの様子



光学式プラネタリウム機器





(単位: 千円)

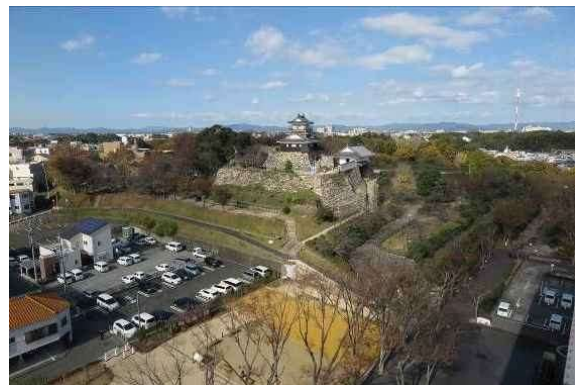
予算款	戦略計画 分野別計画	事業費	財源内訳			
			国・県	市債	その他	一般財源
総務費	文化・生涯学習	29,591	8,239	0	0	21,352

※(文化財費) 会計年度任用職員 58,155 千円の一部、史跡等整備活用事業 27,491 千円の一部の合計

目的	史跡等の発掘調査、資料整理等を行い、文化財の適正な保存管理を図るとともに地域活性化につなげる。
背景	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和元年度に国史跡である二侯城及び鳥羽山城の保存活用計画が国に認定され、保護・活用・整備事業に国庫補助金の活用が可能となった。</li> <li>・浜松城の石垣は、前回変状調査を実施してから 30 年が経過している。</li> <li>・令和 2 年 3 月に光明山古墳が国史跡に指定された。</li> </ul>
事業内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 二侯城跡及び鳥羽山城跡 16,010 千円 <ul style="list-style-type: none"> <li>・策定済の「保存活用計画」(整備方針、将来像)に続き、史跡の価値や集客力向上のため、具体的な整備内容を示す「整備基本計画」を策定</li> <li>・今後の保存と整備に活用するため、門跡や堀跡等の発掘や石垣の安全性を調査</li> </ul> </li> <li>2 浜松城跡 7,017 千円 <ul style="list-style-type: none"> <li>・石垣のふくらみや陥没等がみられる 19 地点の詳細調査</li> <li>・浜松城跡の保存と活用を適切に進めるための保存活用計画の策定に必要な基礎情報の整理及び基礎図の作成</li> </ul> </li> <li>3 光明山古墳 6,564 千円 <ul style="list-style-type: none"> <li>・古墳を確実に保護するため、土地の寄付受入により公有化</li> <li>・良好な見学環境を確保するため、樹木等を整備</li> </ul> </li> </ol>



鳥羽山城跡大手門



浜松城の現況



# 中央図書館大規模改修事業

市民部中央図書館  
電話: 456-0234

(単位: 千円)

予算款	戦略計画 分野別計画	事業費	財源内訳			
			国・県	市債	その他	一般財源
総務費	文化・生涯学習	537,916	0	384,700	42,833	110,383

※関連課 財務部公共建築課 (電話: 457-2461)

※図書館管理運営事業 192,341 千円の一部、公共建築物長寿命化推進事業 2,255,176 千円の一部の合計

※財源 (その他) 資産管理基金繰入金

※債務負担行為 事項: 中央図書館大規模改修事業費 期間: 令和4年度まで  
限度額: 749,515 千円

目的	市内図書館の中核である中央図書館の大規模改修を実施し、安全で快適な公共空間を市民へ提供する。
背景	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 現施設は昭和56年4月に開館後、39年経過し、老朽化が著しい。</li> <li>・ 職員執務室が施設内5か所に分散し、非効率な配置である。</li> <li>・ 平成30年10月に策定した図書館ビジョンでは、知の拠点としての機能充実、ユニバーサルデザイン化、親しみやすい環境づくり等を目指すこととしている。</li> </ul>
事業内容	<p>1 工事 427,533 千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 劣化状況等に応じた改修、更新 (外壁、内装、建具、電気、空調等)</li> <li>・ UD化、省エネ化のための多目的トイレ、授乳室、LED照明等の整備</li> <li>・ 1階事務室・受付準備室及び2階参考室・郷土資料室等のレイアウト変更</li> <li>・ 飲食コーナー、ボランティア室、多目的室等の新設 など</li> </ul> <p>2 臨時事務所の設置、図書の保管 110,383 千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 工事期間中、中央図書館付近の民間ビルで貸出予約資料の受け渡し等の窓口業務</li> <li>・ 書籍等の資料を温度、湿度管理可能な倉庫で保管</li> </ul> <p>3 スケジュール</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 令和3年5月 休館開始 (臨時事務所開設準備、図書資料等移設)</li> <li>・ 令和3年7月 臨時事務所開設、工事開始</li> <li>・ 令和4年8月 リニューアルオープン</li> </ul>



中央図書館 現在の外観と内観

(単位:千円)

予算款	戦略計画 分野別計画	事業費	財源内訳			
			国・県	市債	その他	一般財源
総務費	文化・生涯学習	315	0	0	0	315

※(新規) 図書館デジタル運営経費 826 千円の一部

目的	デジタル技術を活用し、「新しい生活様式」における図書館業務全体のサービス向上を図る。
背景	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染拡大を受け、図書館の来館・対面によるサービスは停止が余儀なくされた一方、電子図書やデジタルアーカイブ等のオンラインサービスはステイホームの状況の中、利用数が大幅に増加した。</li> <li>・地域の知の拠点として、これまで充実させてきた「リアル」の図書館とともに「オンライン」での図書館サービス拡充の重要性が改めて確認された。</li> </ul>
事業内容	<p>タブレット型端末や Web カメラ等の配信機器を導入し、オンラインサービスを拡充する</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 講座の配信 歴史講座や情報活用講座等のオンライン配信</li> <li>2 Web サービスの紹介 各種講座やイベント等において、タブレット型端末を用いてオンラインでの図書検索方法やはままつ電子図書、デジタルアーカイブ等を紹介</li> <li>3 多言語での通訳 窓口やブックスタートにおける、タブレット型端末を用いた遠隔多言語通訳</li> <li>4 UD トークの導入 文字表示によるコミュニケーションが必要な来館者に対して、音声の文字化サービス (UD トーク) を活用</li> </ol>



窓口でのタブレット型端末活用イメージ

(単位: 千円)

予算款	戦略計画 分野別計画	事業費	財源内訳			
			国・県	市債	その他	一般財源
総務費	文化・生涯学習	2,359	1,000	0	0	1,359

※博物館管理運営事業 19,937 千円の一部、遺跡公園運営事業 施設整備事業 6,260 千円の一部の合計

<b>目的</b>	国の指定史跡である蜆塚遺跡を歴史まちづくりの拠点と位置づけ、市民が親しみやすく利用できる魅力ある公園として再整備するとともに、公園内にある博物館の将来像を検討する。
<b>背景</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 蜆塚遺跡は、昭和 30 年代に全国に先駆けて発掘調査され、野外博物館のモデルとなったが、最初の整備から 60 年が経過している。</li> <li>・ 令和 2 年度から蜆塚遺跡保存活用計画の策定を開始し、国から認定されると今後の史跡整備に対して助成が受けられる。</li> </ul>
<b>事業内容</b>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 蜆塚遺跡保存活用計画策定 2,000 千円                         <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 最新の研究成果を反映した整備を行うため、保存活用の基本方針を策定</li> <li>・ 計画策定にあたっては、専門家などの有識者による検討会を設置</li> <li>・ 計画は、令和 2~3 年度の 2 年間で策定し、その後、国の認定を目指す</li> </ul> </li> <li>2 (新規) 博物館リニューアル基本構想策定 359 千円                         <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 集客力向上のため、蜆塚遺跡と一体的に施設をリニューアル</li> <li>・ 令和 3 年度は、有識者による展示の現状分析、課題整理、博物館の将来像の検討や展示手法の先進事例調査を実施</li> </ul> </li> </ol>



蜆塚遺跡

博物館の展示



美術館及び秋野不矩美術館展覧会	市民部美術館	秋野不矩美術館
	電話:454-6801	電話:922-0315

(単位:千円)

予算款	戦略計画 分野別計画	事業費	財源内訳			
			国・県	市債	その他	一般財源
総務費	文化・生涯学習	86,408	0	0	39,741	46,667

※(美術館費)会計年度任用職員7,550千円の一部、平常展開催事業4,301千円の一部、企画展開催事業26,009千円の一部、特別展開催事業27,529千円、美術館運営経費932千円の一部、(秋野不矩美術館費)会計年度任用職員9,289千円の一部、秋野不矩美術館所蔵品展開催事業3,929千円、秋野不矩美術館特別展開催事業15,776千円の合計

目的	展覧会の開催を通して、市民の芸術文化の向上を図る。				
	1 美術館 57,414千円 (単位:千円)				
事業内容	No.	イベント名	事業費	内容・開催期間	
	1	遠州の民藝展 (企画展)	18,285	遠州の民藝運動を支えた人々と、新しい民藝品を作り出した作家たちを紹介する展覧会 令和3年5月15日~6月27日	
	2	藤井フミヤ展 (特別展)	18,233	幅広く活躍するアーティスト・藤井フミヤの、未公開作品を含む100以上の作品を紹介する展覧会 令和3年7月13日~8月22日	
	3	イタリア・ボローニャ国際絵本原画展 (特別展)	10,342	ボローニャ市で毎年開催される、世界最大規模の絵本原画コンクール入選作品を紹介する展覧会 令和3年10月2日~10月31日	
	4	静岡県立美術館名品展(企画展)	5,836	静岡県立美術館開館35周年を記念し、改修期間中だからこそ可能な過去最大規模の移動美術展覧会 令和3年11月13日~12月19日	
	5	平常展	2,352	美術館所蔵の小杉惣一コレクションの中から、年間を通して石仏や金銅仏、硯、鏡、俑を紹介する展覧会 令和3年5月1日~5月9日、7月13日~8月22日 10月2日~10月31日、令和4年1月5日~1月19日 2月1日~2月18日	
	6	浜松市第69回市展 (平常展)	2,366	美術の創作と鑑賞を勧め、郷土の文化・芸術の向上を図るため、広く市民から作品を募集し、入賞入選した作品を展示 令和4年2月1日~2月18日	
	2 秋野不矩美術館 28,994千円				
	1	高橋周桑展 (特別展)	9,532	秋野不矩が創立に携わった「創画会」の物故会員である日本画家・高橋周桑の生誕120年を記念した回顧展 令和3年5月29日~7月11日	
	2	所蔵品展	9,560	各回のテーマに沿って秋野不矩の画業を紹介 令和3年4月6日~5月9日、7月17日~9月5日 9月10日~10月24日、令和4年1月7日~2月27日 3月4日~3月31日	
3	石本正展 (特別展)	9,902	秋野不矩が創立に携わった「創画会」の物故会員である日本画家・石本正の生誕100年を記念した回顧展 令和3年10月30日~12月19日		



秋野不矩美術館資料収集保存事業

市民部秋野不矩美術館  
電話:922-0315

(単位:千円)

予算款	戦略計画 分野別計画	事業費	財源内訳			
			国・県	市債	その他	一般財源
総務費	文化・生涯学習	6,310	0	0	5,500	810

※秋野不矩美術館運営事業 資料収集保存事業 6,310 千円

目的	秋野不矩作品を購入し、作品の適正な管理を行い、調査・研究を踏まえて秋野不矩の画業を広く紹介する。
背景	平成10年度の開館以来、秋野不矩作品の収集につとめ、現在秋野不矩の作品320点、その他作家の作品33点の合計353点を所蔵している。
事業内容	<p>秋野不矩作品を1点購入する</p> <p>1 作品名 「暮れる海」</p> <p>2 制作年 1960年</p> <p>3 サイズ 63cm×151cm</p> <p>4 価格 5,500千円</p> <p>5 特徴 高知県南東部の室戸岬の夕暮れがモチーフで、当時の秋野作品としては珍しい横長の画面で荒々しい太平洋の情景を描いており、制作年代的にも秋野氏の画業を知る上で貴重な作品</p> <p>6 展示時期 令和3年7月展示予定</p> <p>7 その他 絵画修復委託等 810千円</p>



「暮れる海」 1960年 秋野不矩作



(単位: 千円)

予算款	戦略計画 分野別計画	事業費	財源内訳			
			国・県	市債	その他	一般財源
総務費	地方自治・ 都市経営	1,870	0	0	0	1,870

※ (新規) 固定資産税等デジタル運営経費 29,032 千円の一部

目的	市民の利便性の向上を図るため、地番図データを地図情報サイトに公開し、インターネット上で土地の地番や形状を確認できる仕組みを構築する。																																
背景	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 現在、土地の地番や形状を確認するために土地地籍図を閲覧する場合、元目分庁舎、区役所等に来庁する必要がある。</li> <li>・ 都市計画マップ等は既にインターネット上に公開されており、さらなる行政サービスのデジタル化に取り組む必要がある。</li> </ul>																																
事業内容	<p>市ホームページ内にある地図情報サイトに「(仮称) 地番図マップ」を追加し、地番図データを掲載する。</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th></th> <th colspan="6">R3</th> <th>R4</th> </tr> <tr> <th></th> <th>4</th> <th>...</th> <th>8</th> <th>9</th> <th>...</th> <th>12</th> <th>1</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土地地籍図閲覧業務 (有料)</td> <td colspan="7" style="text-align: center;">→</td> </tr> <tr> <td>地番図マップ公開 (無料)</td> <td colspan="3" style="text-align: center;">→ (システム構築業務)</td> <td colspan="4" style="text-align: center;">→ (地番図データ公開)</td> </tr> </tbody> </table>		R3						R4		4	...	8	9	...	12	1	土地地籍図閲覧業務 (有料)	→							地番図マップ公開 (無料)	→ (システム構築業務)			→ (地番図データ公開)			
	R3						R4																										
	4	...	8	9	...	12	1																										
土地地籍図閲覧業務 (有料)	→																																
地番図マップ公開 (無料)	→ (システム構築業務)			→ (地番図データ公開)																													

【サイトトップ画面】※イメージ



〈拡充〉マイナンバーカード交付促進事業

市民部市民生活課  
電話: 457-2130

(単位: 千円)

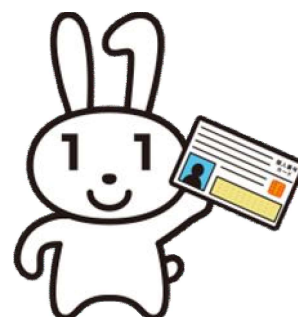
予算款	戦略計画 分野別計画	事業費	財源内訳			
			国・県	市債	その他	一般財源
総務費	安全・安全 ・快適	35,570	22,551	0	13,019	0

※ (市民窓口費) 会計年度任用職員 11,378 千円の一部、戸籍・住民基本台帳・印鑑登録等事業 475,267 千円の一部、(新規) 市民窓口デジタル運営経費 114,394 千円の一部の合計

目的	増加するマイナンバーカード交付申請に的確に対応し、円滑な交付事務を進めるため、交付体制を強化する。
背景	<ul style="list-style-type: none"> <li>本市では、令和3年度のマイナンバーカードの目標交付率を国が提示した70.8%に設定した。(R3.1.1 現在、交付率21.7%)</li> <li>目標達成のため、市民に申請を促すとともに、マイナンバーカードの交付体制を拡充する必要がある。</li> </ul>
事業内容	<p>マイナンバーカード交付需要の高まりに対応し、現状月あたり約7,000件の処理能力を約15,000件に拡張するための体制を整える。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>交付窓口の拡充 (設備) 23,209 千円 7区役所にマイナンバーカード交付用端末を合計25台増設することで、交付窓口の増加や交付前設定環境の充実を図り、円滑なマイナンバーカード交付を行う。</li> <li>交付体制の強化 (人員) 4,274 千円 会計年度任用職員16人を7区役所 (中区5人、東・西・南・北・浜北区2人、天竜区1人) に追加増員することで、マイナンバーカード交付体制の充実を図る。</li> <li>オンライン予約システムの導入 (令和3年9月開始予定) 8,087 千円 現在、電話予約のみで運用している日曜カード交付に、インターネットからも予約ができるシステムを導入する。</li> </ol>



マイナンバーカード交付窓口 (中区役所)



マイナンバー  
PRキャラクター  
マイナちゃん